

平成 2 8 年度第 1 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成 2 8 年 4 月 1 3 日（水）	午前 9 時
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第 1 回定例会議事日程

- 1 日 時 平成 2 8 年 4 月 1 3 日 (水) 午前 9 時
 - 2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室
 - 3 会議に付すべき事件
 - 第 1 第 1 号議案 八王子市教育委員会事務局職員人事に関する事務処理の報告について
 - 第 2 第 2 号議案 平成 2 9 年生存者 (春 ・ 秋) 叙勲候補者の推薦について
 - 第 3 第 3 号議案 八王子市立学校教職員の処置の内申について
 - 4 報告事項
「読書感想画」・「読書感想文」コンクール受賞者の海外派遣について
(図書館部)
-

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育職務代理者	和 田 孝
委 員	星 山 麻 木
委 員	輿 水 かおり
委 員	村 松 直 和

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	小 俣 勇 人
学 校 複 合 施 設 整 備 課 長	内 野 茂 樹

施設管理課長	松土和広
保健給食課長	野田明美
教育支援課長	穴井由美子
指導課長	中村東洋治
教職員課長	廣瀬和宏
統括指導主事	佐藤晴美
統括指導主事	斉藤郁央
生涯学習スポーツ部長	小柳悟
生涯学習政策課長	瀬尾和子
スポーツ振興課長	坂口崇文
スポーツ施設管理課長	佐藤晴久
学習支援課長	新井雅人
文化財課長	中正由紀
こども科学館長	叶清
図書館部長	伊比洋司
中央図書館長	中村照雄
生涯学習センター図書館長	新堀信晃
南大沢図書館長	村田浩三
川口図書館長	福田秀之
指導課指導主事	上野和広
教職員課主査	長尾千恵
教職員課主査	石川智也
生涯学習センター図書館主査	高橋淳子
教育総務課主査	堀川悟
教育総務課主任	村石英里
教育総務課主事	黄川田裕子
教育総務課囑託員	古瀬村温美

【午前9時00分開会】

安間教育長 大変お待たせいたしました。

会議に入ります前に、さきの第1回市議会定例会におきまして、本年3月末で退任いたしました、坂倉仁教育長の後任といたしまして、私、安間英潮が市議会の同意を得まして、4月1日に市長より教育長に任命されました。御報告をするとともにお時間をおかりいたしまして、一言御挨拶を申し上げたいというふうに思います。

改めまして、安間英潮と申します。私は平成9年から平成14年までの5年間、八王子市に指導主事として勤務した経験がございまして、こうして古巣である八王子市に戻れたということを大変うれしく、また光栄に思っております。指導主事を経験した後は、東京都教育委員会において全都の子どもたちのための教育行政にかかわりまして、この3月までは東京都教職員研修センターの研修部長を務めておりました。今後はこれまでの経験を生かしまして、八王子市の子どもたちのために全力を尽くしてまいりたい所存でございます。

私自身にも八王子市の子どもたちに対して思い入れがございまして、とにかく八王子の子どもたちが八王子で勉強してよかった。また、ここで育ってよかった、何よりも八王子市に生まれてよかったと思ってもらえるように、粉骨砕身努力をしていくつもりでございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、座らせていただいて、進行いたします。

次に職務代理者でございますが、4月1日に和田孝委員を教育長職務代理者として指名いたしましたので、あわせて御報告申し上げます。

それでは和田委員より御挨拶いただきたいと思います。

和田委員 皆さん、改めておはようございます。今、御紹介ありましたけれども、引き続き教育長職務代理者ということで、教育長に事故があるときには、その役目を果たしたいというふうに思っておりますけれども、教育長が元気でまた、思いを実現できるように、この会が進行されることを祈っています。どうぞよろしく願いいたします。

安間教育長 ありがとうございます。

それでは、会議に入りたいと思います。

本日の出席は5名でございますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。
これより平成28年度第1回定例会を開会いたします。

本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環といたしまして、節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施しておりますので、御理解いただきますようお願いをいたします。

それでは、日程に入ります前に、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は和田孝委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

なお、議事日程中、第2号議案及び第3号議案は審議の内容が個人情報に及ぶため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

安間教育長 それでは、それ以外の日程について進行いたします。

日程第1、第1号議案 八王子市教育委員会事務局職員人事に関する事務処理の報告についてを議題に供します。

本案について、教職員課から御説明を願います。

廣瀬教職員課長 それでは、平成28年度最初の議案でございます。

第1号議案、八王子市教育委員会事務局職員人事に関する事務処理の報告についてでございます。詳細につきましては、主査の長尾より御説明申し上げます。

長尾教職員課主査 それでは、第1号議案について説明いたします。

本議案は八王子市教育委員会権限委任に関する規則第4条第1項に基づき、教育長におきまして事務処理をいたしましたので、同条第2項に基づき報告し、承認をお願いするものでございます。

八王子市教育委員会事務局人事について議案資料のとおり、平成28年3月29日付で決定し、平成28年4月1日付で発令を行いました。人事異動の内容につきましては、議案書に添付いたしました関連資料のとおりでございます。なお、資料にはございませんが、平成28年3月31日付で小坂光男図書館部長及び牛山清志こども科学館長が定年退職となりましたことを、あわせて報告させていただきます。

説明は以上でございます。

安間教育長　　ただいま、教職員課からの説明は終わりました。

本案について御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　そうしましたら、本案の内容にかかわらず、この人事関係のこと等ひっくるめてでも結構ですから、何か御意見等がございましたらお聞かせください。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは、御意見等もないようでございますので、お諮りをいたします。

ただいま議題となっております第1号議案については、提案のとおり承認するという事で御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　御異議ないものと認めます。

よって第1号議案については、そのように承認することにいたしました。

それではここで、転入された方から一言御挨拶をお願いしたいと思いますので、学校教育部、生涯学習スポーツ部、図書館部の順にお願いをしたいというふうに思います。

廣瀬学校教育部長　　それでは、学校教育部に転入した管理職について御紹介をさせていただきます。施設管理課長の松土和広です。

松土施設管理課長　　4月1日付で施設管理課長を拝命いたしました松土和広と申します。教育委員会は7年目になりますけれども、気持ちを新たに子どもたちのために適切な教育環境、維持管理に努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

小柳生涯学習スポーツ部長　　引き続きまして、生涯学習スポーツ部に転入しました管理職について御紹介させていただきます。生涯学習政策課長、瀬尾和子です。

瀬尾生涯学習政策課長　　瀬尾和子でございます。よろしくお願ひいたします。

小柳生涯学習スポーツ部長　　スポーツ施設管理課長兼八王子市体育館長、佐藤晴久です。

佐藤スポーツ施設管理課長　　佐藤晴久です。よろしくお願ひいたします。

小柳生涯学習スポーツ部長　　こども科学館長、叶清です。

叶こども科学館長 叶清です。よろしくお願いします。

小柳生涯学習スポーツ部長 以上でございます。

伊比図書館部長 それでは、図書館部に異動してまいりました管理職の紹介をさせていただきます。

まず私ですが、4月1日付で図書館部長になりました伊比洋司と申します。よろしくお願いします。

続きまして、川口図書館長、福田秀行でございます。

福田川口図書館長 福田秀行でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

伊比図書館部長 以上でございます。

安間教育長 ありがとうございます。

安間教育長 それでは、続いて報告事項となります。

図書館部から御報告をお願いいたします。

新堀生涯学習センター図書館長

平成27年度に開催いたしました、第11回読書感想画コンクール及び第4回読書感想文コンクールの中学生の部の上位入賞者について、八王子市の海外友好交流都市である台湾高雄市への同年代の生徒との読書を通じた交流を行い、友好親善を深めるために3月末に現地への海外派遣を行いましたので御報告を申し上げます。詳細につきましては、主査の高橋から御報告申し上げます。

高橋生涯学習センター図書館主査 それでは、私からは「読書感想画」・「読書感想文」各コンクール上位受賞者の海外派遣につきまして御報告いたします。

先月、3月27日から29日までの3日間、八王子市図書館と東京八王子西ロータリークラブが共催にて開催いたしました平成27年度読書感想画及び読書感想文コンクールの上位入賞者10名が、八王子市の海外友好交流都市、台湾高雄市を訪問いたしました。派遣の生徒はご覧の10名でございます。引率職員ですが、市側からは学校教育部の斉藤郁央統括指導主事と私、生涯学習センター図書館の高橋以外に、市民活動推進部多文化共生推進課の鄧囑託員が同行したところでございます。

派遣の内容でございますが、まず台湾高雄市の立德国民中学校にて、生徒たちとの交流を行いました。その中学校では、生徒たちの英語に力を入れたり民族舞踊

やスポーツ、また食育などにも取り組んでおりました。民族舞踊で歓迎を受けた後、両方の生徒で水餃子をつくり、英語の授業ではゲームなどを用い、生徒間のコミュニケーションをとりました。短い時間でしたが、帰り際、生徒間で別れを惜しむ姿が印象的でした。

次に、高雄市庁舎で行われました今回のコンクールへの表彰式へ出席いたしました。今回は、海外友好交流都市と合同開催しております読書感想画コンクールの絵の高雄市・八王子市、両市の生徒の受賞作品が展示された中で、現地の子どもたち及び今回派遣されました八王子市の両コンクール上位入所者に高雄市長から表彰状が授与されたところでございます。また、その表彰式の運営にも携わり、同時に両市の友好親善の役割を果たしたところでございます。

また、受賞後は双方の子どもたちによる合同絵画の制作を行いました。八王子まつりや高雄市のシンボル、スカイタワーをモチーフに短い時間でしたが、協力して完成することができました。その絵画は、高雄市庁舎に飾られると伺っております。

以上が派遣内容でございますが、八王子市を代表する中学生として、生徒たちは計画どおり無事、全工程を終了することができました。今回、現地の子どもたちとの交流や現地で開催される式典への出席等を通して、参加する子どもたちに読書の大切さとともに、このコンクールに入選したことの喜び、及び異国の台湾でこの派遣事業に参加したことが、自信とプラスアルファの健全育成の機会を提供することができたと感じているところでございます。

報告は以上でございます。

安間教育長　　ただいま、図書館部からの報告は終わりました。

本件について御質疑ございませんか。

輿水委員　　この事業につきましては、前からもいろいろと事前の情報があったのですが、改めてお伺いしたいのですが、この事業は平成27年度で何回目になるかということをもう一度教えていただきたいのが一つ。

それから、この報告では、先ほど口頭では引率のお名前がありましたけれども、この引率責任者はどなたがやっていたのかをお聞きしたいのが一つ。

それから、この文面ではこの事業の目的が項目立てされていないのですけれども、事業をやるということは、当然目的が明示され、目的に沿って内容があって、そし

て最終的にそれがどういうふう達成されたかという評価があるべきだと私は思うのですけれども、どこ向けの報告書なのか、私たちといいますか、教育委員会に出していただいた報告書であるならばそういうことをきちんと出されたほうが事業としての説明としてはわかりやすいかなという意見も入ってしまいましたが以上です。

新堀生涯学習センター図書館長　　まず1番目の回数ですが、読書感想画コンクールにつきましては、昨年度で第11回目、平成17年度から開始をしております。それから読書感想文のコンクールにつきましては、第4回目となり、平成24年度からの開催です。台湾に派遣をいたしましたのは、両コンクールが開催された平成24年度からということで、今回で4回目です。

それから、2番目の御質問にありました、引率責任者でございます。これにつきましては、昨年度まではいろいろなパターンがございましたけれども、図書館部の管理職が、2回目と3回目でしたか、責任者で参りました。第1回目は校長先生に引率責任者として現地に行っていたという実績がございます。今回につきましては、昨年度の教育定例会の中で前教育長からのお話もあり、実際の視察の内容が現地の学校の生徒たちの交流ということに重きがありますので、そういう意味で学校教育部の方がどなたか引率で行ったらどうだというようなお話もございましたので、今回は斉藤統括指導主事に、管理職の責任者として行っていただく形をとりました。

それから、3番目の目的の件でございます、これについては大変申し訳ありませんでした。資料の構成としましてはおっしゃるとおりでございます、目的を書いた中での評価という形でわかりやすくお示すべきであったと思います。今後はそのように考えていきたいと思っておりますので、今回は御容赦いただければありがたいと存じます。

以上でございます。

輿水委員　　ありがとうございました。やっぱり、11回重ねてきているとか4回派遣をしているとかというのは、積み重ねの上でいろいろな成果が出てくると思っていますので、何年度も結構ですけれども、そういう意味も含めて、紙面構成をお考えいただけたらというのが1点です。

もう一点は今回、学校教育部ということで指導主事が同行されたということであ

るならば、今までの引率と違った面といいますかね、どうであったか。やっぱり、事業をするときにはそういうことは必要だと思うのです。変わったことについて、どういう評価があるかというのは大事なかなと思いますので、できれば斉藤統括指導主事にお伺いしたいというのが2点目です。お話がありましたように、ぜひこの事業が実のあるものになるための方策、実のあるものになるための報告ということでもよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

斉藤統括指導主事 私、統括主導主事として、今回参加をさせていただきまして、まさに中学生10名を引率しますので、ちょっと遠い修学旅行というような感じもあり、児童の生活指導も含めて、さまざまところで見させていただいたところがございます。特に中学校への訪問ということがございましたので、私もいろいろ考えさせられることがあり、政策に生かせるものがあるかなというふうに思いました。

具体的には国民性の違いというふうな、一言でいうとそういうことになるのですが、例えば向こうに行って、英語の授業を行うところを参観したのですが、向こうの授業は基本的に同じ中学校の2年生でありながらオールイングリッシュであり、生徒が全てその英語をもとにして英語で思考していくというような形になります。日本の生徒と事業交流、ゲームを通して授業を行って、ポーカーの中で英単語を組み合わせて一つの文を作るゲームだったのですが、そのルールを説明するとき、向こうの生徒はきちんと英語で日本人に説明する。ところが、行った生徒たちはやっぱり同じグループでいると日本語で、あ、わかんない、これどうしようとかなどと、英語の授業なのに日本の言葉で思考してしまうというようなことが非常に大きな差があったなというふうに思います。

それから、授業の前に水餃子づくりなども協力して行ったのですが、やはり、自分から進んで日本の生徒に関わろうというのは台湾の子のほうが圧倒的に多くて、そのあたりの自己主張というか、自分をきちんと表現できることというのはすばらしいなというふうに思いました。

それから、学校全体としても休み時間になると、ほぼ全校生徒が取り囲むぐらい、ばーとやってきて、チャイムが終わるとすーっといなくなるみたいな感じで、すご

く関心が高いというか、ちゃんと日本の生徒たちを温かく迎えているのだなという
ようなことがすごく見えました。このことからやっぱり、日本の生徒の内向きな、
日本人気質ということになるのですが、そうではなく、自分のことを主張したり相
手に対して、自分の思っていることを表現できるようなことを日頃の授業等でもや
っていく必要があるのかな、日常の積み重ねが日本の生徒と台湾の生徒の違いがあ
るのかなというふうに感じましたので、そのあたり教員の指導等に生かしてまいり
たいなというふうに感じております。

輿水委員 ありがとうございました。こういうことが大事なのかなというふうに思う
のです。比べてみて、初めてわかることもあるだろうし、ずっとうちにいるだけで
は気付かないこともあるだろうし。これは、もう、当然、引率された方以上に子ども
たちがそれを感じていると思います。まだ、熱いうちに子どもたちの驚きとか、
これから自分たちがどういうふうに世界に打って出なければいけないのか、そのた
めには何が必要なのかというところをしっかりと評価させて、評価して、それがオ
ープンになって表現し、全部の学校の子どもたちに少しでも伝わるような、そうい
う事業展開を望みます。よろしく願いいたします。

安間教育長 よろしゅうございますか。

和田委員 輿水委員からも話があったのですけれども、こういう派遣事業で生徒たち
が参加をしているわけですね。そうすると、やっぱり報告のときに生徒の声を入
れてもらいたいんです。つまり、お二人の報告があったわけですが、結局、
企画や運営をしている方の意見と統括がご覧になった学校の状況を説明している状
況はわかったんですが、ぜひ、生徒たちはどんな感想を持ったのか、どんな意義を
持って、この海外派遣に参加してよかったと思ったのか課題があったなと思ったの
か、もっとこういうふうにしたいと思ったのか、その辺の生徒の声をぜひ、少し聞
かせていただくとありがたいなというふうに思います。

斉藤統括指導主導 今の輿水委員の話の続きになるのですが、この中学校の交流が終
わった後に、中学生の生徒一人ひとり、向こうの先生方、校長先生方等に対して、
挨拶をしたのですけれども、その中の話を聞いてみると、やはり、自分でも痛感し
たのでしょうか、もっと勉強しなくてはいけないのだとすごく思いましたというよう
な声がありました。また、生徒の中には、自分が将来海外の仕事をしたいと思って

いると、そういった中でこういうような経験ができたということは、非常にうれしかったと、これからの励みにしたいというふうな声もありました。

全体的に3日間いたのですが、やはり、生徒は非常に前向きにとらえておりまして、ちょっと少し体調を崩しぎみになった生徒も一部いたのですが、基本的には貪欲に吸収をし、できるだけコミュニケーションをとり、そして、式典なんかも立派にこなして日本の代表、八王子の代表の生徒として、きちんとかなせたと考えております。

和田委員 統括が見た感想ではなくて、子どもたちがもっと勉強したいとかもっと交流をしたいとか海外を見たいとか、何かそういう、それでいいと思うのですよね。どうしても最後、まとめたくなるのはよくわかるのですが、ぜひ、こういう機会に子どもたちの声を付け加えていただくと、この交流の意義というのが浮き立ってくるのではないかなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいです。

村松委員 前回の、台湾の八王子野球選抜の遠征のときもお伝えしたのですが、これを見ますと、定例会報告事項資料と書いてありますので、輿水委員がおっしゃったように、この場で教育委員が何をしただとか、どういう行程だったとか、何時何分にこの子たちがご飯を食べただとか、そういう詳しいことも聞きたいのです。なぜかという、また海外友好交流で台湾の方たち、子たちが来たときに私たちとしても、その子たちをどういうふうにおもてなしをして、日本の学校はいい学校だ、こういうところで勉強できていいなというふうに思ってもらえるような、私たちとしても、よくその辺を考えていきたいので、やはり、定例会の報告事項資料だからこそ詳しい行程ですとか、今、おっしゃったように、いろんな形のをやっぱり挙げていただかないと、私たちは、この1枚だけではわからないので、もっともっと詳しく報告をしていただければなというのが率直な意見です。何より子どもたちがどういうことを学んできたのかというのは、やっぱり、私も知りたところなので、ぜひ、次回は、せっかく1枚だから裏も使えますので、考えていただいて、御報告をしていただければなと思っています。

以上です。

新堀生涯学習センター図書館長 今回、委員の皆様から御意見をいただきましたので、例年どおりというわけにはいかないと私も思いを新たにいたしましたので、資料の

少し多くなるところあるかもしれませんが、いろいろ考えまして、見繕って次回はもう少し詳細な報告という形をぜひとらせていただければと思っております。失礼いたしました。

星山委員　これに関して答えが欲しいというわけではないのですが、私がこの報告を伺って、ここが知りたいなと自分が思ったところだけ2点ほど。

一つは、この先どういうふうはこの事業が展開していくのかなという将来への展望というところがもしありましたら知りたいなと思いました。

2点目は同じことなのですが、子どもたち同士の交流がこの機会だけではなくて、この終わった後、当事者同士どんなふう、生かされているのかなというのが知りたいなと思いました。最近ではフェイスブックとかいろいろなところで、特に絵画が得意な子たちでしたら、いろいろな交流に発展するのかなと、そんなこともあるのかなと思いましたけれども、わからなかったので知りたいなと思いましたし、また、行った子たちはとても効果があったということがわかったのですが、こういうふう伺ってみますと、この子たちの体験を聞くだけでも、ああ、世界ってこうなっているんだなということがわかるので、行かれなかった人たちに対しても、せっかくこの機会をどうやって発信していくのかなという、その視点は大切かなというふうに思いました。

以上です。

新堀生涯学習センター図書館長　展望でございます。この事業は説明の中でも申し上げましたけれども、東京八王子西ロータリークラブとの共催という形で行っているものでございます。台湾に派遣をする、それから全体的なコンクールの運営に関して相当な御協力をいただき中で、やっていかなければいけない事業、また継続できない事業ですので、そこは引き続き東京八王子西ロータリークラブに御協力をいただきまして、今後とも継続をしていきたいというふうに考えております。

それから、交流の関係でございますけれども、これについては現地の同年代の中学生とやはり、メールアドレス等を交換するとか、一緒に行ったお友達同士でもそういう情報を交換するようなことをしていたというふうに伺っておりますので、そういう意味でも、個人的な交流が今後進んでいく場面があるのではないかとこのように考えております。前年度までの状況については詳細に把握しているところで

はございませんので、申し上げられませんが、そういうふうな期待も持てるというふうに考えているところでございます。

それから、発信についてでございます。コンクールの作品の内容について報告書発行という形を今後とってまいります。これも、東京八王子西ロータリークラブの御協力を得る中で発行してまいります。それらをお見せすることはもちろんですが、ホームページ等でも交流の状況について内容を掲載しておりますので、そういう形で発信は行っていくというふうに考えているところでございます。

以上です。

齊藤統括指導主事 補足になりますけれども、私も現地に3日間一緒にいて、初めは同じ中学生、同じ中学校の子たちは別として、全く違う子たちが全く会話もなく、最初行きのバスなんかもしーんとした状態だったのですが、3日間終わって帰るときには、本当に絆が強まってお互い連絡先を交換し、やはり読書を通じて同じ趣味がある子どもたちだということで、非常にきずなが深まったなというふうに考えています。

それから、台湾の子どもたちも本当に行く前から自分のフェイスブック、小さい子はアドレス帳みたいなものも渡す準備をされていて、来たら即仲よくなろうみたいな形で、アドレスを教えてみたいなことを言ってきたりとか、非常に積極的でした。そういう意味では、先ほどお話があったとおり、個人的なつながりについてはかなり強く結びついているなというふうに感じております。ぜひ、台湾の子たちも含めて、交流ができればいいと思います。

私、向こうの教育局長の方とも話をしたときに、ぜひ、台湾のほうからも逆にこちらのほうに行きたいというような話をいただいたのですが、早速、向こうのほうから正式に依頼があって、この7月7日に台湾の小学生がこちらに来て、本市の小学校と交流するという形で今段取りを進めているところでございます。そういったところから、日台の友好がさらに発展していけばよいかなというふうに感じております。

安間教育長 よろしゅうございますか。ほかに委員の方から。

輿水委員 今の統括の話、台湾からいらっしゃるというのは、ロータリークラブはかんでいるのですか。

齊藤統括指導主事 向こうの教育局から、本市の安間教育長あてで直接参っていますので、西ロータリークラブが直接かかわっていることではございません。

輿水委員 これが本当に八王子の子どもたちのある意味、国際化であったり、学習への意欲であったり、コミュニケーション能力であったりというところに大きな効果があるとするならば、もちろんロータリークラブの御支援をいただくというのは、とてもいいことだと思いますけれども、逆に指導課も含めて事業化していくとかいようなことが考えられるのかなと思うのです。毎年やっているし、ロータリークラブからお金を援助していただけるから、だからやりますというふうな消化型の事業ではなくて、積極的活用型、ぜひ、子どもたちのために必要なのかどうかというそういう評価をしていただいて、もし、事業化する必要があるならば、そういう芽出しもあっていいのではないかな。台湾は早いでしょう、こういうふうに。いいと思ったらそれがすぐ事業化されて、そして、すぐアクセスがあるわけです。日本の奥ゆかしいと言ったら確かに奥ゆかしいのですけれども、いいと思うことについて貪欲に積極的に迅速にというところ、ぜひ、まねたいなと感想も含めてです、お考えいただければと思います。

安間教育長 ありがとうございます。他に委員の方からございませんか。

最後の御質疑、非常にそのとおりなので、ぜひ、事務局としても具体的な形で効果検証をして、どういうことに役に立つ、どういう目的でというようなことを1回整理したいと思います。また、本日、委員の方々から報告事項の資料に関する御指導をたくさんいただきましたけれども、海外派遣のこの資料は来年のためというお話ではなく、事務局が各局とも報告事項に関して、今日の委員の方々の御指摘というのは何の目的で何を伝えたくて、この資料を出しているのですかという、一言でいうとそういうことなのだろうと思います。

ぜひ、この図書館部の問題ではなく、今後も資料のつくりに関して、ぜひ、何を伝えるというメッセージの目的と、そして、さらに、その部分について成果がどうだったかということなるべく具体化して、委員の中からも生徒の声を入れるというのも一つの手法でしようし、数字を出していくというのも一つの手法でしようし、そんなことで、年度の初めでもありますから、いい御指導をいただいたというふうな事務局として受けとめて、報告資料について、ブラッシュアップをしまいいりま

しょう。

他に何か報告する事項はございますか。

廣瀬学校教育部長　　ございません。

安間教育長　　それでは、これで公開の審議は終わりますが、委員の方からこれ以外で何かございますか。

和田委員　　前回の定例会から日にちが経っているのですが、一つは春休み中の子どもたちの事故とかそういう問題行動とかについて、特に何もなかったのかということが1点。

それから、卒業式の後の定例会だったのですが、卒業式や入学式の中で、特に何か課題となるようなことがなかったのかということ。

それから、最後はお願いになるのですが、やはり、就学してくる、特に1年生になると思うのですが、この春休み中にもいろいろな悲惨な事故があって、亡くなったり保護者からの虐待があったりとか、そういう状況があるわけなのですが、その就学予定の児童たちが、きちんと入学式に来て、その後、学校に来ているかどうかということについて、教育委員会としてはどういう把握をしているのか、その辺を、ぜひ、わかる範囲で結構ですので、教えていただければというふうに思います。

少し経ってから来ていなかったとか、通知が行っているのだけれどもという、連絡がつかないというようなことのないようにしていただきたいと、これが3点目のお願いになりますけど、もし、何か春休み中の事故とかあれば御報告いただければというふうに思います。

安間教育長　　今、お話しできる段階で担当のほうで御発言できますか。

佐藤統括指導主事　　春休みの事故等につきましては、大きなものについてはこちらには連絡は入っておりません。また、今日から指導主事のほうが学校訪問を始めまして、その詳しい内容についても、今から聞き取りを始めます。

卒業式、入学式についても特に何か課題があるということはありませんでした。

以上でございます。

穴井教育支援課長　　新入学の方の安否確認ということかと思いますが、まず、就学時の健康診断を受診したかどうかというところで、一つチェックが入ります。各学校

の予定日に来なかったお子さんについては、教育センターで追加の診断も受けているのですが、それでも連絡がつかない、あるいは手紙は届いているのに学校に来なかった。そういう状況は教育支援課で収集をしまして、各学校でも家庭訪問をしていただいています。私どもも現地へ行って御家庭を見たり、子ども家庭支援センター、あるいは外国人の方が多いのです。外国人や、あとは海外で保護者が働いていらっしゃるって、日本と海外を行ったり来たりしている方という方がほとんどなので、入国管理局のほうへ調査をかけました。今のところ、行方不明という方は出ておりません。また、詳細については後日、報告いたします。

安間教育長　　他の委員は何かございますか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは、暫時休憩にいたします。

なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は御退席をお願いいたします。

新堀生涯学習センター図書館長　　先ほどの台湾派遣の関係について、1点だけ、ちょっと、お話を加えさせていただきたいのですが、事業化の関係です。資金のお金の出どころを先ほど、ロータリーの協力を得なければいけないというような話し方をしましたけれども、一定の成果が見られた中で、八王子市としても青年海外の派遣基金というものを使いまして、一部事業化をして進めているところではございます。

ただ、おっしゃいましたように、それをどういうふうに広げていくかということを考えていかなければいけないという段階に来ているというふうには思っておりますが、一応事実として報告をしておきたいと思います。

安間教育長　　わかりました。よろしゅうございますね。先ほどもお話ししたように、しっかりと効果検証をしていくということで。

それでは、改めまして、暫時休憩にいたします。

再開は45分です。よろしゅうございますか。それでは、9時45分に再開をいたします。

〔午前9時40分休憩〕